

各施設の利用内容が変更になっている場合があります。お出かけ前に最新の情報を必ずご確認ください。

弘前市 弘前文化センタープラネタリウム

ごろん♪と寝転がって楽しむ天体観測

2023年春、「寝転がれるプラネタリウム」としてリニューアルした施設です。室内に敷きつめられた人工芝に、ブランケットやクッションなどを持ち込んで寝転がりながら観覧することができます。小さいお子さんが座席から転落する心配がなく、添い寝して鑑賞できるのがうれしい♪イスもあるので地べたに座るのが困難な方にも配慮されています。投影時間によって異なるプログラムは「幼児向け」「小中学生向け」「一般向け」があります。土曜日の10:30からの幼児向け「わくわく☆子どもプラネ」は、どなたでも無料で観覧できます！

室内はベビーカーでの入室もできるので、赤ちゃん連れでも楽しめます。投影日は、土日祝日、弘前市立小・中学校長期休み、季節の祭り期間となりますが、



平日は遠足などでも利用できるとのことなのでお問い合わせください。
(取材：葛西)
※人工芝中央にある投影机は、投影中熱くなるので触らないようご注意ください。

住/弘前市下白銀町19-4 弘前文化センター 3F 電/0172-33-6561
 営/投影日：土日祝日(10:30、13:30、15:00)
 弘前市の四大まつり期間中・小中学校の長期休業期間(13:30、15:00)
 ※土曜日の10:30は、どなたでも無料の「わくわく☆子どもプラネ」(約25分)を投影
 休/月曜日と毎月第3火曜日、年末年始(12月29日～1月3日)
 試運転日(1月4日・5日)
 ※土日祝日であっても会場(多目的活動室)が貸し出されている場合は休館
 ※機器の保守点検日など臨時に休館する場合あり
 観覧料/一般：250円 小中高：120円 未就学児：無料
 市内の小中学校に在籍する児童生徒、満65歳以上で市内に住所を有する方は無料
 ※身分証をお持ちください(無料に該当する条件および団体料金はHPをご覧ください)

HPはこちら▶



- 1 青森県内で初めて導入された「デジタル式プラネタリウム」は、高いドーム型の天井に星空・宇宙・映像などを投影
- 2 お好みの体勢で鑑賞することができます
- 3 入口には天体に関する情報が展示されています

▲弘前文化センターには授乳室やおむつ替えベッドがあります。センター内のイベントに参加の場合は託児室の利用が可能(利用方法等はHPをご覧ください)

プラネタリウム 弘前市

黒石市 黒石市役所わのまちセンター

屋内外のあそび場、赤ちゃんにもやさしい空間♪

子育て世代を中心に幅広い世代の市民が利用できる場を創出し、まちなかににぎわいをもたらすことを目的とした複合施設です。

室内外で赤ちゃんから小学生まで遊べるスペースが人気。小学生までが対象の「子ども広場」は、ボールプール、ボルダリングウォール、絵本やソフトブロックなどで遊ぶことができます。「赤ちゃん広場」は、自由にハイハイできる柔らかい床が特徴です。屋外にある「子どもあそび庭」は、人工芝が敷かれているので裸足で思う存分遊ぶことができます。

ボタンを押すとミストが出る「ミストボール」はみんなに大人気!ボールから噴射するミストは、浴びるととても気持ちがいいです。

子どもあそび庭からつながる「横町交流館」には、パンやおにぎりなどの軽食を売るテナントがあるので休憩にオススメ。

また、離乳食作りなどができるキッチンスタジオ(要予約)、子育て相談室もあります。子育ての手厚いサポートがうれしい施設です。(取材：大山)



▲入場料、駐車場が無料なので時間を気にせず遊べます

住/黒石市大字市ノ町2-1 電/0172-52-2111
 開/9:00~21:00
 休/年末年始12/29~1/3
 入館料/無料(子ども広場・赤ちゃん広場・子どもあそび庭)
 ※施設使用料についてはHPをご覧ください



▲HPはこちら



▲案内表示は「黒石よざれ」



- 1 自由にダイナミックに遊ぶことができる「子ども広場」
※お子さまから目を離さないようお願いいたします
- 2 「赤ちゃん広場」の床は柔らかくヨチヨチ歩きの子も安心♪
- 3 細かい粒子のミストがカラフルなボールから噴射!

▲フカフカの床なので裸足で走り回ることもできます

わのまちセンター 黒石市

十和田市郊外にある家族で楽しめるスポットです。花苺蒲やルピナス、シャクヤクなど、季節ごとに見ごろを迎える花々を楽しみながら、広い園内を散策できます。

また、薪割り、火起こし、竹のぼりなど、普段ではなかなか体験できないイベントは、子どもたちにとって貴重な経験&思い出になります。かわいいウサギたちとの触れ合いには心が癒されます。



その他にも予約制で、ピザ作り、棒パン作り、蕎麦打ちなどの体験も人気。小舟に乗ってじゅんさい摘みや、予約なしで体験できるブルーベリー摘み取りなどは7月末頃まで楽しめます。

創業37年。先代の思いを受け継いだ南部の郷は、古きよき時代に「タイムスリップ」したような、時間がゆっくり流れる安らぎの場所です。(取材：工藤)

◀日本の原風景を思わせるノスタルジックなたたずまい

住/十和田市深持字鳥ヶ森2-10 電/0176-27-2516

開/9:00~17:00(最終入園16:30)

休/4月下旬~10月: 定休日無し 8月: 夏季休園 11月~翌年4月: 冬季休園

入園料/4月~5月中旬: 大人・高校生以上500円 小・中学生200円

5月下旬~7月下旬: 大人・高校生以上800円 小・中学生300円

9月上旬~10月下旬: 大人・高校生以上500円 小・中学生200円

※幼児は入園料無料

※各種体験は要予約、別途料金がかかります

※料金やイベント開催期間等はHPをご覧ください

鯉艸郷 十和田市



▶HPはこちら



▼緑や花や動物と触れ合える癒しの空間



- 1 生地から練ってトッピング♪石窯で焼く本格的なピザを作ってみませんか(5/1~10月末)
- 2 鯉艸郷のそば粉を使用した蕎麦打ち体験は、子どもも大人も楽しめます(4名から受付 ※3名以下は要相談)
- 3 小さな浮船に乗り、棒で舵をとりながら摘み採る「じゅんさい摘み」は不思議な体験(小学校中学年以上 ※低学年は保護者同伴のうえ要相談)
- 4 6月上旬~7月上旬頃には、彩りにあふれた1万株のルピナスが咲き誇ります

帰省先 こどものヒヤリハット

自宅とは異なる住宅環境や場所では、ママ&パパも危険に気づきにくくなります。帰省先に潜む危険から子どもを守るためには…?

(あの読者モニターアンケート回答より)



実家に帰省したときに起きたヒヤリハットは?

ヒヤリハット「ヒヤリとした」「ハットした」など危険な事態が発生したものの、幸い大きな事故には至らなかった経験

<p>お風呂入り、ストーブの前で着替えているときにガードに近づきすぎておしりをやけど。しばらく赤くなりました。(4歳)</p>	<p>親戚がアメやラムネをあげようとしていてビックリ! 慌てて阻止しました。(1歳)</p>	<p>コーン菓子を食べて中にじんましんが…祖父母が与えていました。(1歳)</p>	<h3>実家に潜む危険ベスト3</h3> <p>(モニターアンケートより)</p> <p>1位 ストーブ ガードを設置してもらおうが、次の年には忘れられていることも。</p> <p>2位 ドアや引き出し 自宅と違う形状のドアに指を挟む危険が! 見たことのない引き出しにも興味津々。</p> <p>3位 階段 昇り降りに慣れていない子どもにとって非常に危険な場所。ベビーゲートの設置など対策が必要。</p>
<p>キャビネットの角にガードがなく、転んだときにおでこをぶつけてケガをしました。(1歳)</p>	<p>階段の手すりの間から落ちそうになり、すぐに抱きかかえてセーフ!(2歳)</p>	<p>仏壇のロウソクの火に触ろうとしたり、お供え物を食べようとして…目が離せませんでした。(2歳)</p>	
<p>落ちていたゴミなども口に入れてしまうので、子どもの行動範囲はきれいに掃除。</p>	<p>普段何気なく置いている薬などは、テーブルの上に置かないように片づける。</p>	<p>刃物などは、棚や引き出しに入れていても出ししてしまうので、手の届かないところに保管。</p>	

どんなものが危険なのか、おじいちゃん・おばあちゃんと共有しよう!

好奇心旺盛な子どもの行動に注意!!

ママ・パパもいつもと違う環境では、危険性に気づきにくくなります。子どもにとって危険なものがないか、毎回確認しましょう!

■夜間・休日に子どもの急な病気で心配になったときに■

子ども医療でんわ相談 #8000

お住まいの都道府県の窓口に自動転送されます

厚生労働省HP/子ども医療電話相談事業(＃8000)について
(https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/newpage_55223.html)
(URLを子ども家庭支援センターが二次元コードに変換)



■身の回りの危険や、起こってしまった場合の対処法■

青森県消費生活センター

子ども事故防止サイト「子どもを守る知っ得術」

<https://www.aca.or.jp/ikuji-hiyarihatto/>

